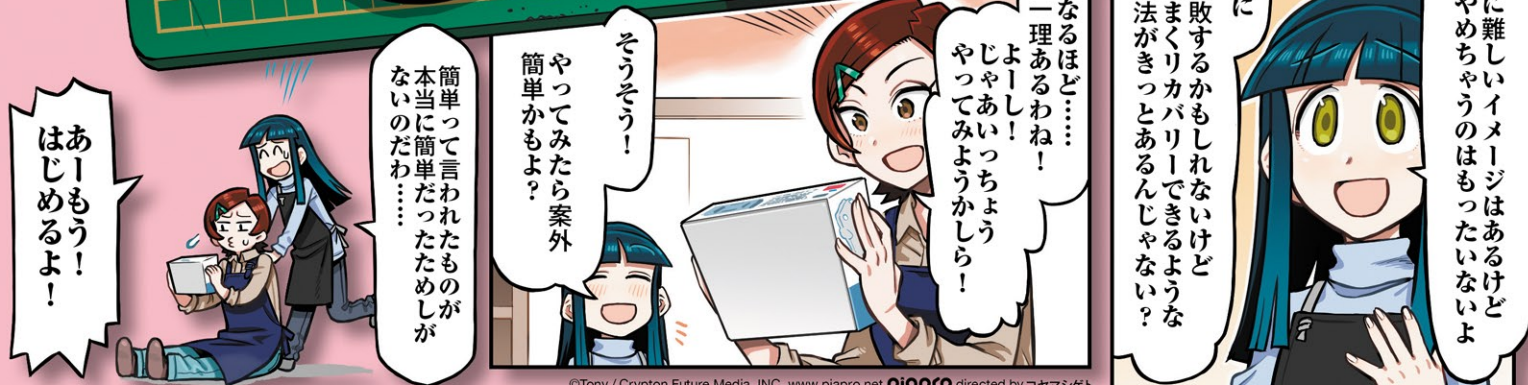
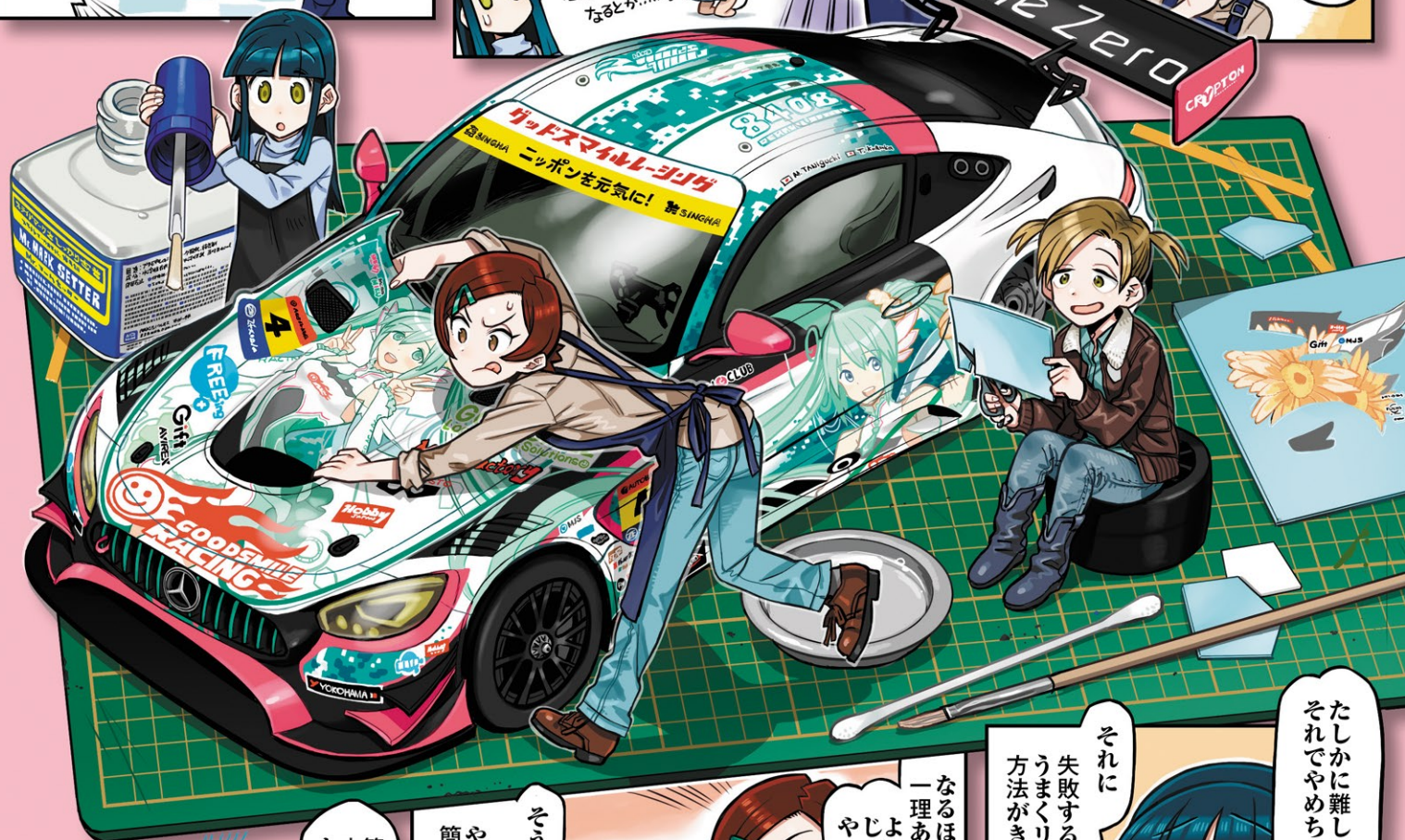


デカルル攻略大作戦+高橋浩二作例集



漫画/クサダ

まあ……逆にいグッと

そ

ちよつと!?



クルマ模型って

Model Graphix ARCHIVES
モデルグラフィックス編

めんどくさい!!

Contents; デカール攻略大作戦+高橋浩二作例集

デカール攻略大作戦

デカールの予備知識	10
デカールワークの技を伝授。	12
キミにもできるデカール自作術	25
教えて! デカールレスキュー	29

グッドスマイル 初音ミク AMG 2017 SuperGT/GT300 「メルセデス AMG GT3」 (タミヤ 1/24+別売デカール)	30
--------------------------------------------------------------------------------	----

グッドスマイル 初音ミク AMG 2017年スバ 24時間耐久レース (タミヤ 1/24+別売デカール)	36
------------------------------------------------------------	----

グッドスマイル 初音ミク SLS 2015 SUPER GT開幕戦 (フジミ 1/24)	40
----------------------------------------------------	----

AXIA スカイラインGT-R 1991年JTC (AXIAスカイラインGT-R [BNR32 Gr.A仕様] 1991 JTC) (ハセガワ 1/24)	48
----------------------------------------------------------------------------------------	----

ジャガー Eタイプ (クーペ) (ドイツレベル 1/24)	56
----------------------------------	----

バガーニ・ウアイラ (青島文化教材社 1/24)	64
-----------------------------	----

ランチアLC2 (前期型) (イタレリ 1/24)	
ランチアLC2 1985年ルマン24時間レース仕様 (モデラース 1/24)	
ランチアLC2 1986年シルバーストン仕様 (タミヤ 1/24電動RC (タムテック)用スペアボディ+ モデラース 1/24)	70

フォード GT ル・マン 2017 (レベル 1/24)	
フォード GT ヘリテージエディション (タミヤ 1/24)	78

フォードGT40 '69ルマン優勝車 (フジミ 1/24)	86
----------------------------------	----

三菱スタリオン Gr.A '87年JTC仕様/ '88年マカオ ギアレース仕様 (青島文化教材社/BEEMAX 1/24)	88
---------------------------------------------------------------------	----

マクラーレン F1 GTR ショートテール ル・マン 1995 #59 マクラーレン F1 GTR ショートテール ル・マン 1995 #24 (フジミ 1/24)	93
------------------------------------------------------------------------------------------------	----

ボルシェ 911 カレラ RSR ターボ ル・マン 1974 #22 (フジミ 1/24)	100
-----------------------------------------------------	-----

ボルシェ 934 RSR 1976年ヨーロッパGT選手権第3戦 ノリスリンク ヴァイラント・クレマー・チーム (ドイツレベル 1/24)	106
-------------------------------------------------------------------------------	-----

ランチア 037 ラリー 1985 ラリー サンレモ (ハセガワ 1/24改造)	110
------------------------------------------------	-----

ランチア デルタ HF インテグラレー エヴォルツィオーネ (ハセガワ 1/24改造)	116
---------------------------------------------------	-----

ランチア デルタ S4 ツール・ド・コルス 1986 (青島文化教材社/BEEMAX 1/24)	120
--------------------------------------------------------	-----

三菱 ランサー ターボ 1982 1000湖ラリー (ブラッツ/nunu、フジミ 1/24)	124
------------------------------------------------------	-----

ST165 セリカ GT-FOUR 1989年オーストラリアラリー仕様 (青島文化教材社 1/24)	134
----------------------------------------------------------	-----

TA64 セリカ '85サファリラリー仕様 (青島文化教材社/BEEMAX 1/24)	138
------------------------------------------------	-----



*本書では基本的に雑誌掲載当時の記事表記に準拠するようにしています。そのため、「本誌」＝「月刊モデルグラフィックス」の略となっています。また、記事中にあるマテリアルやキットに関する表記は掲載当時のものになっているため、現在は名称が変更になっていたり価格が改訂されていたり販売が停止されていたりする場合があります。なお、本書掲載の作例ではタバコスポンサーロゴを再現していますが、キットにはデカールは付属しません



いろいろある模型ジャンルのなかでも敬遠されがちなクルマ模型。「めんどくさそう」と思ったそこのアナタにこそ、読んでほしいのが本書です。

クルマ模型って
何がめんどくさいの？

クルマ模型って めんどくさい!!

文／森慎二

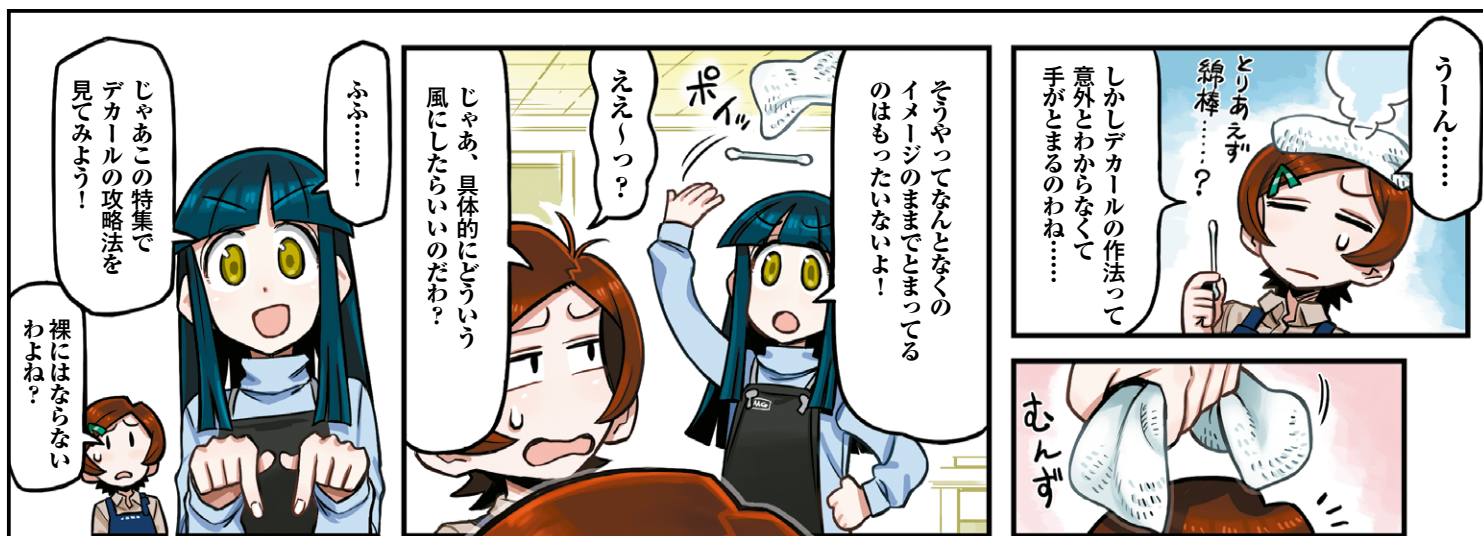
「クルマ模型ってめんどくさそう」、そんなふうに思っている方が多くいるようです。模型雑誌に掲載されている作例はとてもキレイでカッコいい、でも自分にはムリ、だってめんどくさそうだし……そんなアナタにこそ読んでほしいのが本書です。

まず問いたいのですが、クルマ模型の製作はめんどくさいのか？ ハイ、たしかにめんどくさいです。でもそれを言うなら、プラモデルの製作はどのジャンルでもめんどくさいといえはめんどくさいものです。だって、わざわざパーツ状態のものを買ってきて自分で組み立て塗るわけですから。完成品のミニカーを買ってきて飾ののとは比べれば「めんどくさい」に決まっています。ではなぜとくに「クルマ模型は」というふうに思ってしまうかというと、それはクルマ模型の製作作業は、慣れていないモデラーにとっては難しいから。そう、「めんどくさそう」と思ってしまう原因は、「キレイに仕上げるのが難しい」からなのです。

クルマ模型完成品は、全面デカール仕上げや研ぎ出し、金属質感やカーボン地の表現など、クルマ模型に特有なテクニックの集合体。やったことのないモデラーにとっては難しくてめんどくさいものに見えるでしょう。たしかにクルマ模型ではほかのジャンルに比べると高い水準の工作や塗装技術が要求されます。でも、難しいのはあくまでテクニック。適切な工具を使い理

にかなった工作法を身につければできるようになります。たしかに本書に掲載されているような美しい完成品を一朝一夕に作ることはできないかもしれませんが、でも、本書をじっくりとお読みいただければ、美しい完成品がひとつひとつ緻密に積み上げられたテクニックの集積体であることがわかりいただけるはずです。

クルマ模型は、とにかく完成後にアラが目立ちやすいものです。キレイに仕上げるためには、できるだけ失敗をしないような段取りとテクニックが必要。都市伝説的に言われる「カーモデラーは真っ裸で塗装する」なんていうのも、「塗装時に塗膜にホコリがついてしまうのをできる限り減らす」工夫なわけです。でも、作っているのは人間なのでどうしても失敗してしまうこともあります。「これだけキレイに作れるのは失敗しないからなんだろう」と思われるかもしれませんが、実際にはそんなことはありません。どんな達人でも失敗はします。達人が美しい完成品を作れるのは、まずできるだけ失敗することを想定して工夫しているから、そして失敗したあとのリカバリーが的確だからです。本書では、そんな達人ならではのリカバリー術についても深く紹介しています。アナタも本書を読んで、「めんどくさい」の先にあるクルマ模型の醍醐味を味わってみてください。難しいからこそおもしろく、完成後の達成感に浸れる、それがクルマ模型のよさです。■



漫画/クサダ





レーシングカーにつきものの ルーバー状ディテールは超難物

このLC2は、フロントタイヤ上のルーバー状のエアーアウトレットが難物でした。かなり凸凹しているのでデカールが浮きまくり。ヒートガンを使って濡らした筆でいねいに押しつけて……というのをひたすらやるんですが、それでもうまくいかない。これくらい出っ張っているとぜんぜんきれいに密着しません。そこをムリヤリ軟化剤で密着させるとデカールの柄が崩れますので、塗料でタッチアップして修整ということになります。普通そういう場合はマスキングをしてエアブラシでタッチアップをするのですが、このようなルーバー状のところだとマスキングテープがすべてきっちり密着するように貼れません。エアブラシで塗装すると密着していないところから塗料がもれるんです。なので、がんばって筆塗りしてタッチアップしました。ストライプのラインを手描きできれいに揃えるのはとても難しいですね。GTや耐久系のマシンはこういうルーバーがあることが多いですけど、デカール貼り的には最難関かもしれない。平面に凹みがあるところはまだいいんです。出っ張ったところは本当に難しい。このように小さな凸部が連続しているのは最悪です。



●本誌'21年3月号掲載。'86年のWEC シルバーストーンに出走したランチアLC2の後期仕様の1/24モデル。タミヤの1/24電動RC(タムテック)用スベアポディーとモデルアースの1/24レジンキャストキットをムリヤリ合体して作るという力技で製作されている



色の境目にあるストライプ、 じつはかなりやっかいなんです

失敗することはよくあっても塗り直しまでやることはあまりないんですが、じつはこれ、まるごと塗り直しをしています。最初は白の上にマスキングをして青を塗り分け、その上にデカールを貼ったんです。でもそうすると、塗り分けの境界には塗膜の段差ができますよね。その段差がデカールのゴールドのラインのところにきて、下地の凸凹がラインのところすごい目立っちゃった。金属色を塗ったところって下地表面の凸凹がすごい目立ちますよね、それと同じです。どうにも修整できなかったので一回デカールごと塗料をすべて剥がしてしまいました。そして今度は、全体に白を塗ってそのまま先にデカールを貼りました。それをクリアコートしてからマスキングで青を塗り分けています。ロスマンズカラーなどによくある、色分けのところにストライプが入るカラーリングのデカールはやっかいなことが多いですね。先に白と青を塗り分けて、クリアコート→研ぎ出しをして段差をなくしてからデカールを貼ってもよいのですが、一回研ぎ出しの作業を挟むのは手間的に……という判断でした。



●本誌'19年5月号掲載。オペル マンタ400 GR.B サンレモラリー 1983 ベルキット 1/24 インジェクションプラスチックキット。読者持ち込み扱いとして掲載された作例で、REJモデルのデカールを使用してキットから仕様変更されている

、超高難易度デカール貼り作例を解説。

具体的なノウハウを解説するまえに、まず高橋氏のデカール貼りの技のレベルをおわかりいただけるよう、過去作の「デカール貼りの難易度が高かったモデル」を抜粋して解説してもらいました。端から見ると「苦労したような跡もなくきれいに貼れていますね」というふうに見えるかもしれませんが、この4台はそれぞれ相当な難物。達人のデカール貼りの技が込められているのです



キャラクターをより華やかに 映えさせる地味～な労力

まずストライプのデカールを貼って上にミクさんのデカールを重ねたら、顔のところが思いっきり透けちゃったんです。顔色も悪くなって。それでデカールを貼った上からミクさんのところだけ白で塗り分けてデカールを貼ってみたんですが、白は隠蔽力が低いので塗膜の段差がかなりできます。そのうえにさらにデカールを貼ったのですごい段差になりました。しょうがないのでそのままクリアコートして研ぎ出しましたが、たいへん労力がかかりました。それで、同じクルマの別のラウンド仕様（この作例）をもう一度作る時にやり方を変えたんです。まず白を塗ったら先にミクさんのデカールを貼ってしまいます。そこでいったんクリアコート。その上にミクさんの形に切り出したマスキングテープを貼り、さらにそのうえにストライプデカールを貼ります。そしてマスキングテープをガイドにミクさんの形にストライプデカールを切り抜きました。ミクさんのところだけ分厚くなって段差ができないように何度もやってみて辿り着いた手順ですが、改めて説明してみるとかなりややこしいですね（笑）



●ポルシェ 911GT3R 初音ミク×GSRポルシェRd.5仕様 フジミ 1/24 インジェクションプラスチックキット。今回特集で製作しているメルセデス AMG GT3と同じく全面デカール仕上げで、グラデーションのストライプとキャラクターイラストが重なるという高難易度なカラーリングになっている



表面が凸凹すぎて全然なじまない ときだってありますね……

キット同梱のデカールは発色が納得いかなかったのがサードパーティの市販デカールを使ったんですが、厚めでクリアー耐性の低いデカールだったので、ボディ形状になじんでくれずいろんなところが破れまくりました。この仕様のデルタって単純なようで意外と凸凹が多いデザイン。エンジンが大きくなった都合でバルジがボンと張り出していたりタイヤを収めるためのオーバーフェンダーが複雑な曲面だったり……初期のシンプルだったところと比べると全然別のクルマと言っていくらい複雑な形です。軟化剤を使ってなじませるにしても、溶けてくるともう動かせないし触ることすらできなくなって、どうしようもなくなってしまふ。なので、破れたところは泣きながら塗料でタッチアップしています。もうタッチアップの嵐です。デカール部分は上から塗ったところのほうが多いくらい。筆塗りでのマスキングは失敗が多いのでほぼマスキングしてエアブラシで塗り分けていますが、もう何度も何度も繰り返して……というカンジで、ごまかしの塊だったりします。まあ、いま改めて見ると、正直どこを直したか自分でもわからないくらい……なんとなかなるもんです。



●本誌'20年11月号掲載。「ランチア “スーパーデルタ” [1992 WRC メイクス チャンピオン]」ハセガワ 1/24 インジェクションプラスチックキット。'94年に発売されたベテランキットで、名車として以降も再版され続けているが、いまのレベルできれいに作ろうとするとかなり大がかりな修整を要する難キット

まずは達人の腕前を知るべく

ここに上げたのはデカール貼りの達人 高橋氏をも唸らせた
難易度が高いモデルたち。ポイントと技を解説してもらおう。





高橋氏
製作の美麗なる
全面デカール作例
どうやったら
こんなふう
に貼れる？

全面デカールのクルマも怖くない、達人のデカール貼りの技とは？

デカール貼りの特集ということで今回呼び出したのが、本誌ではおなじみの高橋浩二氏。数々の美麗なカーモデル完成品を作ってきた高橋氏が実際にキットを製作しているところを取材させてもらうことになったのですが、一般的に言われるデカール貼りのセオリーとは違う「筆で貼る」「ヒートガンでなじませる」「軟化剤はなるべく使わない」といった技法がつつぎと……でも、よくよく話をうかがってみると、どの技法も合理的でリスクに配慮されていることがわかります。本特集では、そんな高橋氏のデカール貼りの技をできるかぎり詳しくお伝えしていきます。



編集担当(以下編) ずばり質問です。デカールをきれいに貼るいちばんの秘訣とは？

高橋浩二氏(以下高橋) うーん、いろいろあるんですけど、いちばんはとにかく「時間がないときには貼らないようにする」かな。編 え!? 普通時間があるときにしか模型って作らないですよ？

高橋 ええと、1枚貼るのに1時間目安、10枚だつたら10時間、ちゃんと確保してます? 編 してない……ですね。普通は。

高橋 軟化剤を使つたりして時間短縮もできなくはないんですけど、そうすると溶かしたり破いちゃうリスクがすごく高くなる。編 え!? ていうことは、高橋さんはデカール軟化剤は使わないんですか？

高橋 使いますよ。むしろ強めのやつを使つてます。ただ、基本はヒートガンで温めて柔らかくするので、使わないですむところではなるべく使わないということですよ。軟化剤は最後の手段だと思つていいます。編 なるほど! だから高橋さんの作例はデカールの失敗がないんですね。

高橋 いやいや、いっぱい失敗してますよ。本当にお恥かしい。

編 え!? (作例をじっくりと見回す) どこが失敗したかわからないんですけど……。高橋 たとえば、ここがここか。

編 ン? ……あ! たしかに、すごく近づいてよく見ると、デカールを切り貼りして重なってますね。

高橋 正直、一箇所も失敗しなかったことつてこれまで一回もないんじゃないかなあ。たぶんどんなに巧い人でもまったく失敗しないことはないと思いますよ。失敗したところはリカバリしてるんです。

編 失敗するんだ、と聞いてちょっと安心しました。カーモデルは小さい失敗できないのかと思つていたので……。高橋 塗装後の最後の接着工程なんかはいつさい失敗できないですね。そういう意味では、デカール貼りが好きな工程なんです。リカバリができますから。そのぶんの作業時間も見越して1枚あたり1時間は確保しておく、だから「時間があるときにしか貼らない」、なんです。

テクニックはいろいろあるけれど、
いちばんの秘訣って聞かれたら……
時間があるときにしか貼らないこと!

え!? そんなのあたりまえ?

でも……ちゃんと1枚あたり最低で1時間目安で確保して、
時間をかけてデカール貼れてます?



(巻頭特集)クルマ模型ってめんどくさいの2

デカール攻略大作戦!

特集ナビゲーター 高橋浩二 (主にカーモデラー)

たかはしこうじ/サラリーマン兼雑誌作例モデラー。
カーモデルやバイクモデルの作例を製作することが多いが、それ以外のジャンルにも臆さず手を出すプラモデル全般が大好きなベテラン。模型製作のほかの趣味は、4輪でのジムカーナや実車いじりで、本誌では編集

部にイジられることが多くふたつ名も多数。そんな高橋氏が製作するカーモデルの印象は、ひと言でいうと「端正かつ美麗」。自ら「理系思考」というとおり、合理的な思考で蓄積した経験に基づく独自の技法で、ハイクオリティーなカーモデル完成品を生み出している

達人ならではのデカール貼りテクニック満載でお贈りします!



貼りはじめる前に デカールの予備知識

なぜスケールモデルは
シールより水転写式デカールなの？



改めて問われると、はっきり
答えられないなあ……
薄いから？ 貼りやすいから？



高橋氏による実技講習のまえに、水転写式デカールの予備知識を整理しておきます。水転写式デカールはうまく使えれば完成品の見映えをグッと引き立ててくれますが、その取り扱いにはいろいろと注意が必要。まずは構造や特性とその弱点、そしてどんな失敗が起こりうるのかをきっちり把握したうえで、対策を練っていくようにします。

(巻頭特集)「クルマ模型ってめんどくさい!」2

デカールは又略大作戦!

多くのスケールモデルで採用されている水転写式デカールは、いわゆるシールと比べると薄くて柔軟性があるので、曲面や凹凸になじませやすいというのが長所。薄いのでスケール感もあり損ないません。いいことづくめのようですが、その薄さと柔らかさは諸刃の剣。同時に水転写式デカールの最大の弱点にもなっています。

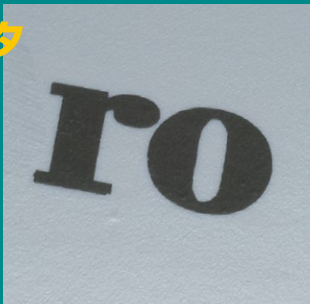
水転写式デカールは薄くて柔らかいぶん、一般的なシールと比べると破れたり溶けたりしやすいです。ものにもよりますが、デカールはピンセットの先で少しつづいた程度で穴が開いてしましますし、無理に引くと簡単に裂けます。デカール軟化剤を使えばパーツの凸凹になじませることができそうですが、一歩間違えると溶けすぎてしまいます。また、ラッカー系塗料の溶剤やうすめ液でも溶けるので、デカールの上に塗装をするときも注意が必要です。追従性がよくスケール感を損なわないというメリット

をきっちり活かしてうまく使うためには、取り扱いに対する注意と経験が必要。このようなデカールの弱点をどうやってのり越えるかが、完成品をきれいに仕上げるための大きなポイントとなります。

弱点について整理してみよう。破れたり溶けたりしやすいという弱点がもっとも大きく関わってくるのは、デカール軟化剤の使用とデカールの上へのクリアーコート工程でしょう。どうすればデカール軟化剤の使用を最小限にできるか、どうすればデカールを侵さずにクリアーコートできるか、そういったことをひとつずつ考えて対策していくことがとても大切です。

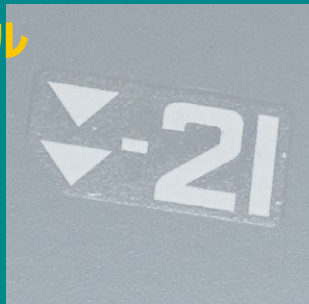
そしてもうひとつ。いつてしまえばデカール貼りは平面のデカールを無理矢理立体のパーツの形に変形させる作業。部分的に破れてしまうのはいたしかたないところがあります。そういうところのリカバリーをどうするか、それも必須のスキルとなります。

インレタ



▶いわゆるインレタ(ドライデカール、クロマテック、イントなどと同じ)は「インスタントレタリング」の略で、透明シート越しにすることで印刷部分だけが貼りつけられるというもの。透明層がないので柄だけをくっきりきれいに見せることができますが、気をつけて貼らないと柄ごとにはずれたりします。また、ベタ印刷はきれいに刷れませんが、多色掛け合わせのイラストやグラデーションが苦手です。

デカール



▶一般的な水転写式デカールは、文字などの柄を印刷したあとに、部分がバラバラにならないよう透明層(ニス)を重ねて印刷しています。そのため透明層は薄くて柔軟性があり透明層のフチは比較的なだらか。もともと柔軟性がある程度凹みにはもたないですが、ただし、軟化剤を使えばさらに柔らかくすることもできます。ただし、薄くて柔軟なので、そのぶん破れたり溶けたりしやすいのが弱点

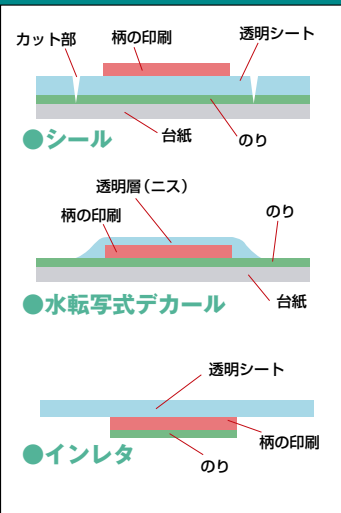
シール



▶ここでは水を使わずに台紙から剥がしてそのまま貼れるものを「シール」としますが、一般的なシールは素材が厚めで、刃物やレーザーなどでカットされているのでフチの角が立つてしまう場合が多いです。手軽に貼れますが、厚いので透明層が目立ち、曲面や凹凸にはなじませにくい。いかにも「貼りました」というカンジになるので、スケール感を重視するスケールモデルではあまり採用されません。

まったく異なる シール、デカール、 インレタの構造

▶シールと水転写式デカール、インレタでは構造がまったく違うので、貼り方や特性も異なっています。ポイントには透明層(ニス)／透明シートの位置と使われ方。どの方式も透明なもので柄(から)の印刷がバラバラにならないようにしていますが、その素材や作り方、最終的に除去するかしないかが大きな違い。厚すぎる透明層はいやだけれど透明層がないとバラバラで貼りにくい。その中間を採ったのが水転写式デカールです。なお右図は一般的な例で、水転写式デカールでも透明層を機械的にカットしているものや、水をつけて貼ってから台紙を剥がす、いわゆる「剥離デカール」などもあります。



水転写式デカールを使う メリットと弱点ってなんだろう

模型のマーキングはたいいていシール、水転写式デカール、インレタで再現されますが、それぞれに長所と短所があります。シールの長所はとにかく手軽に貼れて、貼ったあとも比較的丈夫なところ。動かし遊ぶような模型はシールであることが多いのはそのためです。ただし、厚めなので境目が目立つのと曲面や凹凸のあるところには貼りにくい。水転写式デカールの長所は、一般的なシールよりも貼りは薄いので曲面や凹凸のあるところに貼れ、貼ったあとにスケール感を損なにくいところ。そのかわり強度があまりないので、貼ったままだとこすれば剥がれます。インレタは透明層が薄いのでいいですが、インレタは透明層がないのでいいが長所ですが、透明層がないので気をつけたいと貼るときにすれます。またグラデーションの表現が苦手。プラモデルで採用されていることはまれです。それぞれ一長一短ですが、スケールモデルに限って言えば、水転写式デカールがコスト／貼りやすさ／スケール感のバランスがよく、多くのキットで採用されています。



失敗!



きれい!

◀左がよくある失敗例、右が今回の高橋氏の作例。高橋氏の作例はまったく失敗がないように見えますが、じつは失敗したうえでリカバリーをしています。特集内ではリカバリーのテクニックについても解説していきます
▶デカールのシルバリングは見映えが悪くなるだけでなく、クリアーコートでデカールが溶けてマスキングで剥かれる要因になります



位置が合わない

●はじめは合わせたつもりなのに貼り終えてみたらずれていた、あるいは何枚か貼っていったら位置が合わなくなっていた、というようなことはよくあります。1枚のデカールだけでなく多少ずれてもあまり気にならないこともありますが、複数枚貼り合わせていく場合は、ずれると隙間ができて重なってしまっで見映えが悪くなります。はじめの位置決めも重要ですが、デカールはのびたり縮んだりもするので臨機応変に対処していきます

破れる、溶ける

●凹凸のところになじまないときデカール軟化剤を使いますが、デカールを溶剤で溶かしているのでもろくなります。どんどん塗ってしまうとしいには溶けてぐずぐずになってそのデカールはもはや修復不可能になるので、軟化剤を使わずに必要です。ただ、平面のデカールをいわばムリヤリ立体に貼っているの、一箇所も破れずに完成ということはまずありません。破れたときの対処法をマスターすることも重要で

シルバリング

●下地とデカールとのあいだに空気が入ってしまい、デカールの透明層が白っぽく見えてしまうことを「Silvering=シルバリング」(反射すると銀色っぽく見えるため)と言います。シルバリングした箇所はデカールが浮いているので事故の原因にもなりやすい要注意箇所。ポイントは、貼っている最中には大丈夫に見えても乾かすと起きる場合が多々あることで、シルバリングしたらナイフの刃先で穴を開けて密着させて直すなどします

曲面や凹凸になじまない

●キットのパーツは曲面だったり凹凸があったりしますがデカールは平面。平面のものを延ばしたりして立体形状に合わせようとしても、デカールの硬さやパーツ形状によってはなかなかなじんで密着してくれません。そのまま浮いた状態にしておくと、貼った当初はそれほど気にならなかったりしますが、クリアー塗料を重ねたときに溶けたり破れたりする危険性が大。また、スジ彫り部が浮いているとスジ彫りが埋まってしまう

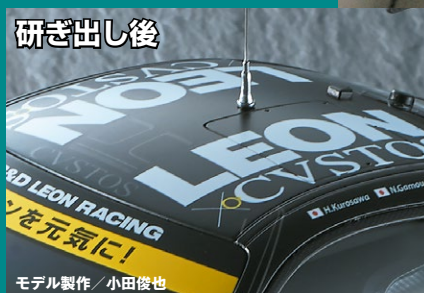
デカール貼りでよくある"失敗"をパターンごとに把握しよう

デカール貼りは失敗の宝庫。「破れた」「溶けた」「バツから浮いてしまった」「位置がずれた」「透けた」「シルバリングしてしまった」……というふうな、いろんなパターンでの失敗が起きます。とくに今回の特集の題材のように全面デカール再現のキットはデカールの数が多いので、いやがおうにも凹凸の上に貼ったりデカール同士が重なったりすることになり、そのぶん失敗する可能性も高くなるでしょう。もちろん、なるべく失敗しにくくするようなテクニックや配慮も重要ですが、でも最後まで「まったく失敗しない」なんてことはありえませんが、失敗を予防しつつ、失敗したらリカバリーをする、これがクルママ模型をうまく作るのも、そして失敗の種類によって作業のタイミングや対処法が変わってきますので、まずは典型的なデカール貼りの失敗パターンをしっかりと把握しておきましょう。

デカールが映える"研ぎ出し"はいろいろなやり方がある。

水転写式デカールは薄いので貼りっぱなしでもいわるるシルよりは目立ちませんが、それでもよく見るとフチの段差や塗装面とのツヤ感の違いが目につきます。そこで、より均一できれいなツヤを出すために行なわれるのが「研ぎ出し」。デカールを貼った上からクリアー塗料でコートし、塗膜をデカールの段差ぶん削って磨くことで、デカールを貼った後も段差がでない(見えない)ようにするという技法です。厳密に言えばデカール貼りでなく塗装と磨きの工程ですが、よりデカールを映えさせる、カーモデルにとってはとても重要なテクニックとして、本特集ではデカール貼りとセットで解説します。研ぎ出しは、磨き上げて仕上げる、クリアー塗装で仕上げるなどモデルによりいろいろやり方がありますが、今回は高橋氏の「シャバシャバクリヤー法」について、そのメリットと工程上の注意点をスポットをあてていきます。

▶デカール貼りっぱなしの状態。光の反射の具合によってはデカールの透明層がとも目立ってしまいます。デカールの透明層だけをきれいに切り取る、というテクニックもありますが、総合的にかかる手間と仕上がりのよさを考えると、圧倒的に研ぎ出しのほうがオススメです



◀研ぎ出しがうまくできるとデカールのフチの段差がなくなり、デカールとそれ以外のところのツヤも揃うので、このようにとてもきれいな反射になります。実車はバイナル(ビニール)のカッティングシートを貼りっ放しだったりするのであくまで模倣的表現ですが、スケール感と美観は研ぎ出し仕上げが圧倒的に優れています



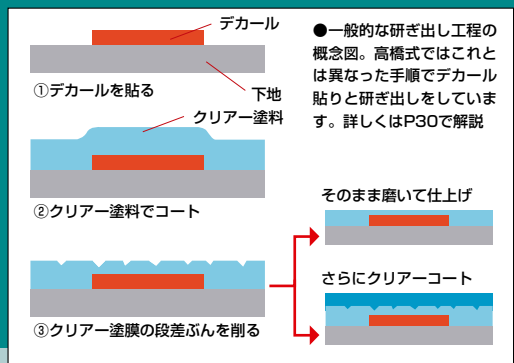
段差を削る



クリアー塗料でコート

▲研ぎ出しは、デカールの厚さよりクリアー層が厚くなるようクリアー塗料を塗るので、デカールを溶かさないようにするのが難所です。そしてさらに、クリアー層の下にデカールや下地塗装を剥かないようにわずかな段差ぶんだけを削るようになります。多分に体感と経験値がモノをいうテクニックなので、達人ならではのコツを詳しく紹介しましょう

▶一般的によくやられる研ぎ出しの工程を模式図で表すとこのようになります。デカールの厚みより厚いクリアー塗料の層を作って、デカールで盛り上がった部分が平滑になるように1500番～の耐水性サンドペーパーで削るところまではだいたいみなさん同じやり方ですが、作る人や作られる車種によって変わってくるのが、そのあとのツヤを復活させる工程。大きく分けると、右の図のようにそのまま磨いて仕上げる方法と、クリアーを重なる場合も、仕上げのクリアーを吹きっ放しにする、さらに磨くなどに分れます(上写真の小田氏の作例は半ツヤクリアーを重ねて仕上げ)



こんなにうまく
デカール貼れないってば



貼り方のポイントを
詳しく教えてくれるって！
やってみようよ

《巻頭特集》クルマ模型ってめんどうかい？

デカール攻略大作戦！

グッドスマイル 初音ミク
AMG 2017 SuperGT/GT300
「メルセデス AMG GT3」
タミヤ 1/24
インジェクション
プラスチックキット
発売中 込4730円
「グッドスマイル 初音ミク
AMG 2017 SuperGT
Ver. 1/24scale用
デカール」
発売中 税込3300円

製作・解説／
高橋浩二



達人カーモデラー
高橋浩二が

デカールワークの技を 伝授。

「デカール貼りの基本的な手順や軟化剤の種類なんかはわかっているつもりなんだけど、実際に貼ってみるとなんだかうまくいかない……」そんな方、意外と多くないですか？ そこで今回はカーモデルの達人 高橋氏の実践的なデカールワークを張り付きで取材し、コツやポイントを解説していただくことにしました。高橋氏ならではの道具の使い方や、経験に裏打ちされたリカバリーテクなどなど、デカール貼りの奥義を伝授しちゃいます！

綿棒ではなく筆で

●あくまで私の場合ですが、綿棒を使用すると、デカールが綿棒にくっついたり、デカールの上で滑らせたときにデカールが切れたり、コロコロ転がしたらデカールが歪んだりすることが多く、うまく制御できず困っていました。これを濡らした平筆に切り替えたところ問題がほぼ解消しました。表面の凹凸がきつく平筆ではデカールを密着できない場合のみ綿棒を使っています



ヒートガンって何?

▲塩ビの曲げ加工やシール剥がしなどいろんな用途に使われるヒートガン。さまざまなタイプがありますが、ここで使っているものは200℃～350℃の熱風が出る小型のもの。ドライヤーより温度が高く風量が抑えめなのが特徴で2000円以下で買えます。自分がヒートガンをメインに使う理由は、必要なときに必要な箇所だけにすぐ熱風をあてられるから。通常のドライヤーと違いスポット的に熱をかけられ水分を飛ばしすぎません

▶デカールを軟化させるには、熱のほかに軟化剤を使う方法もありますが、塗ったあとはしばらく触れず、溶けすぎる事故も起きがち。ですので、自分の場合は基本的にヒートガンを使い、軟化剤を使うのはなじまないときの最後の手段です



筆で貼れるの?

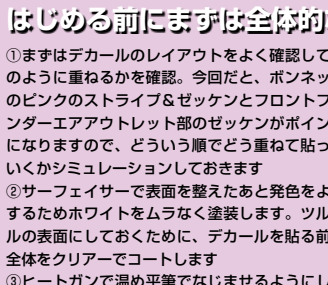
①ヒートガン／デカールは温めると柔らかくなるので、パーツ表面の曲面にデカールを追随させるために使います
②デカール軟化剤、デカールのり／デカール軟化剤はパーツの表面形状が複雑で密着しにくいときの最後の切り札。なるべく使わず使うときは要注意（グッドスマイルカンパニーのGSRデカール軟着剤とGSRデカール剛力軟化剤を使用。後者は現在市場在庫のみで、タミヤのマークフィット スーパーハードが同様に使えます）。デカールのりは、のりが劣化した古いデカールやどうしても密着しない場合に使います
③平筆／パーツとデカールのあいだに残る水を抜くときや、デカールを曲面や凹凸になじますときに綿棒の代わりに使っています。水分を吸い取ったり、逆に水分を足すときにも使い、デカール貼り作業のほぼすべての場面で活躍します
④ピンセット／デカールを台紙ごと水につけると引き

上げるとき、デカールをパーツに載せるときなど、繊細な作業をするときに活躍する“第二の指”
⑤デザインナイフ／おもにデカール台紙を切るときに使いますが、場合によってはパーツ上でデカールを切ったり、デカールの下の気泡を抜くために穴を開けたりするときにも使います。常によく切れる刃に替えるようにしましょう
⑥深皿／デカールを浸ける水をためておく容器。最近は便利な専用工具も市販されていますが、自分は子供の離乳食を作るときに使っていた深皿を再利用しています。要は水がためられればよいのですが、なるべく置いたときに安定する形のものにしましょう。ぶつかって水がこぼれると大惨事です
⑦キッチンペーパー／デカールの余分な水を吸い取ったり、筆に含まれる水分を吸い取るときに使います。キッチンペーパーはホコリや紙の粉がでにくいのがポイントです

見慣れない道具もあるんだけど……？

どういう手順で作業を進めていくの?

デカールをきれいに貼るコツはいろいろありますが、まずはパーツをツルツルな表面にしておくことが重要。また、デカールの発色がよくなるように明るいうちの塗装色になっていることも大切です。また、今回の作例のように全面デカールの車種では、デカールが貼り重なるところをどういう順番で貼るのかも重要になってきます。まずは貼りはじめる前にデカールとパーツをよく眺めて、どこをどういう下地色で塗るか、下地をツヤありにするときにザラつきそうなどころはどこか、デカールをどの順で貼り重なるか、重なるところの境目をどう処理するかをイメージしておくようにしましょう。デカールはいったん貼りはじめるとやり直しがきかない場合が多いので、あらかじめ計画を練るようにしましょう。



はじめる前にまずは全体的な工程をイメージすべし

①まずはデカールのレイアウトをよく確認してどのように重ねるかを確かめよう。今回だと、ボンネットのピンクのストライプ&ゼッケンとフロントフェンダーエアアウトレット部のゼッケンがポイントになるので、どういう順でどう重ねて貼っていくかシミュレーションしておきます
②サーフェイサーで表面を整えたと発色をよくするためホワイトをムラなく塗装します。ツルツルの表面にしておくために、デカールを貼る前に全体をクリアでコートします
③ヒートガンで温め平筆でなじませるようにして

1枚ずつデカールを貼っていきます
④デカールを貼るときは、どこを起点に貼りはじめればシワくちやにならず手間が減るかをよく考えながら作業を進めよう
⑤スジ彫りのところは、全体の貼り付けを終わってからデザインナイフで切り込みを入れ、軟化剤+ヒートガンでデカールを柔らかくして凹部になじませていくようにします
⑥デカールを貼り終えたらクリアで全体をコート。デカールの段差をなくしたいなら、クリア塗膜を削る研ぎ出しをします



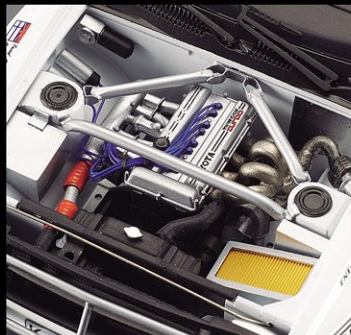
9784499233422



1920076037009

ISBN978-4-499-23342-2 C0076 ¥3700E

定価(本体3,700円+税)



Model Graphix ARCHIVES
クルマ模型って
めんどくさい!!

デカール攻略大作戦+高橋浩二作例集

